

1. 緊急支援物資の供給

(全国の工場や、倉庫など)

物資供給施設

☆修正前

■ プッシュ型支援で送った主な物資

食料	パン 57万食	おにぎり 23万食
	バックご飯 30万食	カップ麺 60万食
日用品や生活必需品	コメ 126トン	
	マスク 224万枚	毛布 12万枚
	簡易トイレ 20万個	下着類 20万着
	紙コップ 106万個	土のう袋 16万5千枚
	段ボール製簡易ベッド 2500個	

【被災地外】

(1) 幹線輸送

(2) 物資集積拠点

日本通運鳥栖センター
ヤマト運輸ロジクロス福岡久山

【被災地内】

(市町村別の、仕分け・配分)

県の集積所

「品目別物資」の輸送

熊本地震で特に大きな問題

(4) 市町の集積所

熊本市 (5→1 箇所)
益城町 (1 箇所)

九州産交コミュニケーション
熊本交通運輸

(物資の引き取り
物流の必要)

(5) 配送

佐川急便

指定避難所、指定外避難所

熊本市：200→70箇所程度
益城町：

(3) 輸送

一部佐川急便

(500人以上の
避難所に、直送)

政府によるプッシュ型支援を巡る主な経緯

4月14日夜	熊本県益城町で震度7を観測する地震発生。首相官邸の危機管理センターに官邸対策室を設け、その後、非常災害対策本部を設置
16日未明	益城町、西原村で震度7を観測する本震
16日夜	菅官房長官が非常災害対策本部に各省庁による「物資調達班」を設け、プッシュ型支援で非常食90万食を用意すると表明
17日午前	首相が、スーパーやコンビニなどの品切れ解消のため各社に協力要請し、70万食を確保すると説明 被災者生活支援チーム初会合
18日午前	菅氏が非常食配布を180万食に拡充すると発表
20日	プッシュ型支援などに充てるため、本年度予算の予備費から23億円の支出を閣議決定
5月9日	河野防災相が13日からプッシュ型支援を自治体要望に基づく「プル型支援」に切り替えると表明
13日	16年度補正予算案を閣議決定。プッシュ型支援が終了

(西日本新聞5月14日配信)

1. 緊急支援物資の供給

(全国の工場や、倉庫など)

物資供給施設

★修正後

■ プッシュ型支援で送った主な物資

食料	パン 57万食	おにぎり 23万食
	バックご飯 30万食	カップ麺 60万食
日用品や生活必需品	コメ 126トン	
	マスク 224万枚	毛布 12万枚
	簡易トイレ 20万個	下着類 20万着
	紙コップ 106万個	土のう袋 16万5千枚
	段ボール製簡易ベッド 2500個	

【被災地外】

(1) 幹線輸送

(2) 物資集積拠点

日本通運鳥栖センター
ヤマト運輸ロジクロス福岡久山

【被災地内】

(市町村別の、仕分け・配分)

県の集積所

「品目別物資」の輸送

ラストワンマイルの課題

(4) 市町の集積所

熊本県トラック協会
サンコーコミュニケーション
熊本交通運輸など

(物資の引き取り
物流の必要)

(5) 配送

熊本県トラック協会
佐川急便など

指定避難所、指定外避難所

(3) 輸送

一部佐川急便

(500人以上の
避難所に、直送)

政府によるプッシュ型支援を巡る主な経緯

4月14日夜	熊本県益城町で震度7を観測する地震発生。首相官邸の危機管理センターに官邸対策室を設け、その後、非常災害対策本部を設置
16日未明	益城町、西原村で震度7を観測する本震
16日夜	菅官房長官が非常災害対策本部に各省庁による「物資調達班」を設け、プッシュ型支援で非常食90万食を用意すると表明
17日午前	首相が、スーパーやコンビニなどの品切れ解消のため各社に協力要請し、70万食を確保すると説明 被災者生活支援チーム初会合
18日午前	菅氏が非常食配布を180万食に拡充すると発表
20日	プッシュ型支援などに充てるため、本年度予算の予備費から23億円の支出を閣議決定
5月9日	河野防災相が13日からプッシュ型支援を自治体要望に基づく「プル型支援」に切り替えると表明
13日	16年度補正予算案を閣議決定。プッシュ型支援が終了

(西日本新聞5月14日配信)